

2026年6月12日

【産学連携】東武トップツアーズ×早稲田大学

「スポーツホスピタリティに関する共同研究」契約を締結

～観光事業者と大学の知見を活かしたスポーツビジネスにおける新たな価値創造へ～

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田 康二）は、学校法人早稲田大学（所在地：東京都新宿区、理事長：田中 愛治、以下「早稲田大学」）と、スポーツ科学研究センターを拠点に、スポーツ科学学術院 高橋 義雄教授を代表として、日本のスポーツビジネスにおける新たな価値創造を目指し、「観光事業者におけるスポーツホスピタリティ事業推進の現状と未来」を題目とした共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本研究は、スポーツビジネスを通じた地域振興や東武沿線価値の向上を目指す当社と、日本のスポーツ科学研究を牽引する早稲田大学が産学連携による専門的な知見を蓄積し、学術的かつ実践的なアプローチから、日本のスポーツホスピタリティが目指すべき将来の方向性を明示し、業界全体へ向けた具体的な提言を行うことを目的としています。

■ 共同研究の概要

- ・研究題目：観光事業者におけるスポーツホスピタリティ事業推進の現状と未来
- ・研究期間：2026年6月1日 から 2029年3月31日 まで
- ・共同研究の概要・役割分担

早稲田大学：観光事業者のスポーツホスピタリティ事業の実態調査、学術的見地からの助言、共同研究論文の製作
東武トップツアーズ：調査研究に関する情報提供、研究成果に基づく戦略立案・実装計画の策定

・研究代表者

早稲田大学：スポーツ科学学術院 教授 高橋 義雄 氏
東武トップツアーズ：スポーツ事業推進部長 久保地 正治



大隈講堂前での記念撮影

(写真左：高橋教授、写真右：百木田社長)



締結式の様子

<https://www.tobutoptours.co.jp/>
TOBU TOP TOURS CO.,LTD.

■ 今後の予定

本共同研究によって得られる成果は、今後の観光業界における高付加価値なスポーツビジネスの標準モデル構築に大きく寄与するものと考えています。当社は、本研究から得られる成果や知見を基に、東武グループが持つネットワークや沿線資源を活かし、地域のスポーツチーム、自治体、そしてファンが一体となって地域貢献や共創を果たせる仕組みを構築し、新たな「沿線価値の提案」を目指してまいります。

■ 共同研究代表者コメント

早稲田大学 スポーツ科学学院 教授 高橋 義雄 氏

「我が国のスポーツビジネスにおいて、ホスピタリティという概念は今後飛躍的な成長が見込めるフロンティアです。本研究では、観光・スポーツビジネスの最前線で豊富な実績を持つ東武トップツアーズ様と協力し、学術的なアプローチからその実態を解き明かします。広く社会へ還元できる研究論文の作成を通じ、日本のスポーツ産業のさらなる進歩と、知的な基盤の構築に寄与してまいりたいと考えております。」

東武トップツアーズ株式会社 スポーツ事業推進部長 久保地 正治

「当社はこれまで、スポーツを通じた感動の創造や地域活性化に注力してまいりました。今回の早稲田大学様との共同研究は、当社の現場の知見を学術的な視点から再定義し、未来の戦略へと昇華させる極めて重要なマイルストーンです。スポーツホスピタリティの普及を通じて、沿線地域の活性化、ひいては持続可能な地域貢献と未来志向の価値創出へ繋げていく所存です。」

以上

報道関係の方からのお問合せ

東武トップツアーズ株式会社 経営戦略部 広報担当 TEL:03-3622-6215